第102号　金曜日　（日刊）　磐城日報　昭和25年4月7日

夕刊

磐城日報

平市白銀町十一
発行所　磐城日報社
電話（呼）一〇三八番
編集兼発行人　後藤幸夫
印刷人　丸山億平
毎週水曜日休刊
一ヶ月三十円　購読料　一部一円

海のひ難場所
四倉港修築に着手
來月早々工費八百万圓で

四倉漁港の修築繼續工事は二十五年度豫算八百万圓に對し国庫補助三百二十万圓（殘額は縣と町と接半不擔）がいよ〳〵決定したので來月早々着工するがこん度の工事は南側防波堤六十米の築造で就勞人員は延一万五千人、尚この防波堤が完成すればこれから來襲する南寄りの大シケには避難港として大いに利用される事になる

縣民税　一億滯納
石城事務所整理に腐心

石城地方事務所管内に於ける縣民税の滯納は三月の年度末に於ても一億余圓が崩れず平市の如きも百三十万圓からの滯納を見せている始末だが同所財務課ではこの不成績を無くすため全課員が三班に分れて出動十五日迄に完納するよう奮勵に當つている

滯納の申告所得税
平税務署最後の斷

平税務署では二十四年度滯納の大親玉である申告所得税に對しいよ〳〵最後の斷を下す事になり署員が數班に分れて近く滯納者を片ッ端から處分するが同署としてはこれ迄の溫情主義を捨てゝ斷呼たる態度でのぞむとの事である

平局の交換嬢
三人半に一人を採用
局もせまき門

平電話局では交換嬢二十名を採用する事になり募集したところ應募者は七十名に達した、學科、人物試驗の上四十九名をふるい落すが三人半に一人の就職は男の就職難にも引けをとらぬものである

展示農場を設置

石城地方事務所經濟課では水稻大豆等の適正品種指導のため平、湯本、澤、植田の一名を採用する事になり一市二町一ヶ村に十六ヶ所の品種展示農場を設置する

全議員優遇
市の參與に

平市では合併によつて自然消滅した前の飯野村の村會議員を明年四月の市議改選期迄優遇しようと鈴木老市長のはからいで市條例を改正の上參與制を設け鈴木秋光氏以下全議員を參與とし公式出張の場合は旅費を給する事とした

煙害問題解決

日本水素工場を相手取つた小名濱町のいわゆる煙害問題は六日農民側が被害總額百三十五万圓迄に讓歩したので解決したが各戸割當は今後決定する

畜犬取締説明會

濱三郡畜産農協組主催の畜犬取締説明會は十四日午前十時から石城地方事務所で開く

機雷發見か
目下調査中

四日午後五時半ごろ第三眞盛丸が双葉郡請戸東方五マイル沖合で機雷らしいものを發見したと五日小名濱海上保安署に屆出た同署では六日早朝現場附近へうずらを派遣調査中

家賃値上げの惡法には反對だ
平借家同盟で反對運動

平市三町目の借家同盟平支部では政府が現在の借地。借家料を三ばいから七ばい三ばいから七ばいの家賃なら三百圓から七百圓となる。總ての物價に比較すればそれ位のネ上げ率になろうが、それでは国民は生活が出來ない、われ〳〵はこうした惡法にはあく迄反對する

不當値上を許すな

平借家同盟支部　佐藤子之吉

四月四日付の磐城日報の二面天窓欄に「惡家主に鐵つい」と題し吉田實氏の投書が掲載されたが、アノ投書は一寸筋が違うから土地、家屋の賃貸に就て一言申上げる。家賃や地代を値上げしてはならぬという統制會は日支事變最中の昭和十五年九月十八日に公布された、その后終戰を迎え物價は惡性インフレによつて急轉した爲二十二年九月十日に昭和十三、四年を基準とした料金の二・五倍の値上げを認められ翌二十三年一月十一日に再び二・五倍のネ上げが許され更に昨二十四年八月一日に六割のネ上げを發表されたのである、であるから昭和十五年に一ヶ月十圓だつた家賃は第一回の二・五倍のネ上げで二十五圓、第二回目はこの二・五倍のネ上げで六十二圓五十錢となり最后は六十二圓五十錢の六割ネ上げで丁度百圓（十ばい）の家賃を現在支拂つている事になる。つまり十年前十圓の家賃はきようの公定で百圓であるからこれ以上は完全に闇となる譯だ。若し自分で計算してこの線から出てる地代、家賃があつたら借家人の味方であるわが借家同盟を尋ねられたい。最后に新しい家の家賃は縣の審議會にかけて決定されるのだからこれとて家主は法外な金を要求する事は出來ない

平市人事

○出生
○岩崎房次郎さん次女晴美ちやん＝五町目三〇
○片倉彦雄さん二男省敏ちやん＝三町目四〇
○箱崎順市郎さん長女崇ちやん＝六間門二

▲死亡
▲羽岡廣之助さん（六三）＝南町七三
▲吉村勝江さん（三五）＝研町四

社告

本紙は本夕刊から四六版十切に擴張致しました決して理想的な紙面ではありませんが近き將來タブロイトにする一つの段階で御座いますからそれ迄引續き御聲援を賜らん事偏に御願致します

四月六日　磐城日報社

◇お知らせ

磐城毎日新聞社は皆様方の絶大なる御聲援のもとに着々準備も整えまして本月中には發刊の運びとなります。それで活字の鑄造も東京より專門家を聘いて本日より大和田印刷所に於て着手致しました。寫眞銅板も技術者を增員して待機の設備が完全しました。菊四切の新聞、當地方では初めてです切に御期待を御願します

四月四日

平市仲町　電七二九番
磐城毎日新聞
創立者代表　大和田與兵衛

記

一、編輯部、業務部、工務部
右若干名を考査の上採用致します

磐城日報發展

平郵便局　局長　小倉利市

平税務署　署長　佐藤博

日本專賣公社　平出張所　所長　本多貢

社團法人　平商工會議所

平地區商業協同組合　專務理事　高木忠三郎

平公共職業安定所　所長　佐藤忠雄

『平料藝組合』結成

料理屋組合側に猛反省促す

平市新田町花街の藝妓屋組合と近く新規營業を許可される市内二十余軒の料理店が提携して新たに「平料藝妓組合」を結成すべく鈴木つて非專屬との區分をはつ武雄、三浦富美男氏らが中心となつて準備をすゝめている、今回平藝妓屋組合がこの擧に出た理由は今年二月平料理店組合からいわゆる御遠慮と稱して四軒の妓屋と十四名の藝妓が箱止めされた事に端を發したものでその後藝しや屋側では無條件で市内有力家に解決方を一任してたが料理店組合側ではこれに應えず前記箱止め藝しやを除外しその稱を附し一人毎に調印をとりさせ、せん屬以外は依然箱止めしたこれが爲苦境に立つた非せん屬組は彼等に猛省を促す意味と料理屋という一方的支配から脱脚會を解散させられた赤井村では五月七日議員選擧を行べく今回新規に營業を許可される二十數件の料理店と手を握つて新たに前記料藝組合を結成する事にしたものである

平方部メーデー

統一で進む事に決定

常磐共闘委のメーデー對策協議會は五日午前十時から平市大工町の勞働會館で開事にしたが細目に就ては十一メーデーとしその他の地區に於ても平に準じて行う事に決した

磐炭協、日礦常連、地區勞その他代表二十余名參集の上行つた結果平を中心に統一一日更に協議の上決定する

殺人息「大谷」に

死刑の判決言渡さる

高久村字小屋下無職大谷欣いていた完(三〇)にかゝる同村野口武男さん(三六)ら親子四名を殺害した事件の公判は五日地方平支部で志郷才判長から求刑通り死刑の判決言渡しがあつたがこの日の判決を聞いていた姉のきよえさん(三三)は肉身だけにすゝり泣は息のあるところから手當の結果蘇生したが母は死亡じてた、子供は四才位の男母は三十五、六才面長で身長五尺位子供は「伊藤」と語るだけでその他は不明である

『緑の羽根』募金運動協議

石城地方事務所では緑化運動の一環として「緑の羽根」募金運動を起すため八日午前九時から會議室で郡下各町村關係者と割當等に就き

川前村の村長選擧

川前村では前村長死去に伴う後任選擧を來る三十日行う事にした

赤井村議選擧

村長を不信任した爲遂に村會を解散させられた赤井村では五月七日議員選擧を行う

リヤカー盗難

平市四町目丸一魚店方で三日夜リヤカー一台價格二万圓相當を盗まれた

ニュース（東西）

◇〜（秋田）四日午前零時半頃北秋田郡長木村驛前農田畑佐一郎さん(六三)方物置から發火全燒したが燒跡から佐一郎さんとその情婦篠原みつさん(三二)の燒死体が發見された、兩名とも頭骸骨をくだかれているので殺害の上放火されたものと見られてる

◇〜（城茨）去る三日午后十一時半頃鹿島郡大同村字荒井農久保德右衛門君(三三)が歸りの遲い父親を迎えに行く途中字角折地内海岸で母子の心中死体らしきものを發見、子供

電配君の暴言

去る四月三日午后二時半頃平市一町目の某商店え買物の爲立寄つたところ丁度その時平局の電配君が電報配達に來た。そして電配君の曰くに「印を貸して呉れ！」というのであつた、そこでその家の主人が「印」は大切なものだから印の押すところを教えて呉れゝば押してあげよう……と話したところそのでん配君は何か二言、三言つぶやいていたが同店を去つて行く時突然「コノ腐れ隠居、何言てるンだ、馬鹿野郎!!」と大きな聲で暴言を吐いて自轉車を飛ばして行つた傍らで聞いて實に呆然とした、私は平電信局は優良局だと聞いたが、あんな從業員がいるようでは決して優良局とは言えない。反省を御願いしたいものだ （一市民生）

★……聲……☆
☆……天……★

十一字詰三十行以内で建設的な意見の投書を歓迎します（係）

釜屋

パンと洋菓子
平製パン
電話21番

ゴム類專門
横山商店
平市三丁目九

純綿物点數不要
白キヤラコ70円台
其他綿物色々有ります
平・四 ツルヤ

運動具は祖父の代から
大塚 30米道路 電七七

牛豚肉
TEL323

四月から鮮魚は統制が外れました。鮮度の高いお魚は是非！當店からお求め下さい。

四丁目 丸一魚店 電二一三
四丁目七(電三〇三) 生田目魚店 生田目忠助
四丁目八(電一七三) 三國屋 篠塚平八郎
四丁目五一 鈴木魚店 鈴木ハツ
柳町一〇 鈴木魚店 鈴木正治
南町三三(電一〇八四) 平生活協同組合 草野利男
田町五二 田山商店 田山秀志
白銀町一二(電五〇四) 魚久 高橋久太郎
立町八四(電九七四) 平田魚店 平田卯三郎
鎌田町三八 小野崎魚店 小野崎ウメ
田町五八(電二二八) 魚一商店 山岸佐之助

何でも揃つて何でも安い……
それ程でもありませんがそれに近ずこうと努力してます
百貨 卸問屋
合資會社 さかいや本店
平市六町目(電四八五)

心からのお客さまえの奉仕
大衆向自慢の天ぷら
健康第一良酒精選
ひよつこ
平市材木町 トヨダ自動車隣

【開店】
一週年記念
大賣出し
（四月八日九日二日間）
御引立御禮として正札一割引
大サービス
平・三丁目 446
一菊の靴

（お花見）理料、折詰
江戸前すし
折詰 重詰 出前
食堂樂 江戸川
才槌小路 電一〇二二